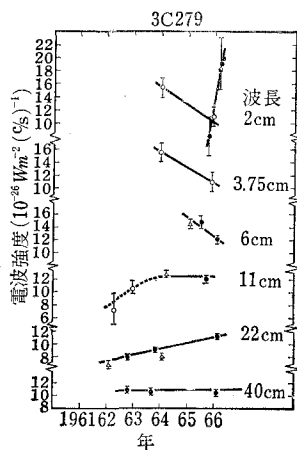
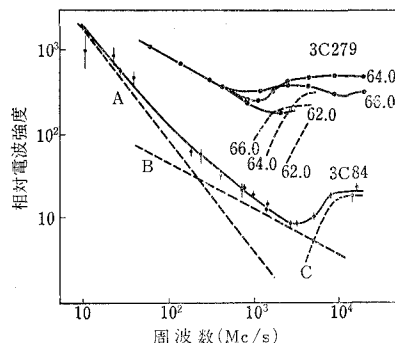


エネルギー損失で、電波強度が減少し始める。したがってある周波数で長年観測していれば、まず電波強度が増大し、増加の割合が次第に大きくなり、透明になる頃減少し始め、この時この周波数より高い領域では直線のスペクトル、低い領域ではカーブしたスペクトルを示す。

このモデルは、3C 279, 84 に適用され、成分Cの年齢は 10 年以下と考えられる。また 1965 年秋の 3C 279 の波長 2cm での強度の突然の増加は、この頃に新しい爆発が起ったとしている。(Ap.J., 146, 634, 1966) (若松)



第1図 電波源 3C 279 の電波強度の時間的変化。図から、波長 11 cm のところで、光学的深さが1になっている。なお、40 cm で変光がないのは、変光が起っている成分Cに比べ定常状態にある成分Bの電波強度が、はるかに大きいからである。



第2図 電波源3C 279, 84のスペクトル。3C 279は、1962, 64, 66 年のスペクトル。点線は、成分Cが時間的に低周波数にずれていくことを表わしている。3C 84 は、成分 A, B, C に分割したスペクトルも書き入れた。なお縦軸は平行移動してある。

◇会計係より：1968 年度分の会費をお払い込み下さい。会費は特別会員 2100 円、通常会員 800 円です。送金には本号折り込みの振替用紙を御利用下さい。



B 6 判 120ページ
定価250円 円55円

(お近くの書店でお求め下さい)

ことしも天体観測は 「天文年鑑」で…… 1968年版 発売中！

■観測の年次計画、季節計画、月別計画に——
■毎日の目標決定に、ぜひご利用ください

毎日の天文現象が、1年を通してひと目でわかる観測ガイドブックです。惑星・月の出没図と時刻、木星の衛星の位置図と時刻、日食・月食・星食の予報、日面経緯度・視半径・均時差、太陽の月面余経度と月面緯度、惑星のこよみ、小惑星・彗星・流星・変光星の予報、日本の日出没時と月出没時、春分点の正中時、人工天体一覧、1年間の天文界のおもな動き、おもな天文書などを掲載すると共に、ユリウス日や天文常数など必要な資料はすべて収めてあります。特に1968年版では、天体写真撮影のための感光材料や露出のくわしいデータをのせました。星図と共になくてはならない本です。ぜひそなえて、広く活用してください。